

平成 20 年度決算特別委員会（平成 21 年 9 月 15 日）

市民参画推進局

質疑者 北山順一

質疑要旨	答弁者	答弁要旨
<p>1. 神戸の技能職の技術力の全国発信と、後継者の育成について</p> <p>神戸には中小企業がたくさんあり、全国に誇れる優秀な技能を持った職人が何人もいる。去年、東大阪では人工衛星を飛ばそうという中小企業の皆さんの大いなる発案で、まいど一号で皆盛り上がっていた。あんな取組みを神戸でもしてほしい。神戸にも大阪や東大阪に負けない技術はあると思う。技術力の良さを神戸はPRしていかないといけない。まいど一号に負けないプランを考えてもらいたい。例えば、神戸はロボットが非常に優れている。ロボットでは日本の先端都市である。そのロボットを活用して、例えば、福祉器具でどこもついてこられないようなものを作り、神戸の技術力を全国、世界中へ発信するぐらいの気持ちで取り組んでもらいたい。また、技能職の魅力を後継者になる若い人に引き継いでいく努力をしてほしいと強く願っている。そういう取組みはいかがか。</p> <p>(再質問)</p>	<p>局長</p>	<p>37業種から或る神戸技能職団体連合会という団体がある。洋服、和服、印鑑等あらゆるジャンルに渡っている。今年3月には技能のオリンピックと坪ばれる全国技能グランプリ兵庫が神戸で開催された。兵庫県が団体優勝し、神戸は36名が出場し、和裁と家具で1位が2名、計16人が入賞と、全国でも最優秀の技能が神戸にあると再認識した。色々な表彰制度や、学校へ行ってのものづくり体験等、技能識者団体も後継者育成施策を神戸市と一緒にやっていただいている。我々も優勝した人をもっとPRできないか、広報紙に載せるぐらいいいのではないかとも思うが、個別の団体のPRがいいのかという話もある。毎年、グランプリ&フェスタという、子どもたちに熟練技能者の技を間近で見てもらおうすばらしいイベントを開催しており、2～3万人の親子が見に来る。技能が子どもたちに新鮮味を与えており、毎年楽しみに来ている子どももいる。これは続けていかないといけないし、後継者育成にもつながる。既存事業だけではなく、技能にデザインも加味して販売という面からもやっていけないか考えている。何か新しいことが出来ないか、課長以下に発破をかけているところである。</p>
<p>洋服など色々な技能職かおるかと思うが、ロボット技術についての見解を伺いたい。ロボット技術は将来</p>	<p>局長</p>	<p>ロボットの生産に携わるような技能については、今のところ我々の技能識団体の中にはないが、産振と情報交換しながらお手伝いしていきたい</p>

性かおり、活用できる。神戸の技能
織は福祉、医療の先端をいくことが
出来ると考えている。この点につい
て、局長にもう一度ご答弁いただき
たい。

(要望)

まいど一号は大阪ですごく盛り上
がった。神戸でも何かテーマを決め
て皆で盛り上がるうという発信をし
ていただきたい。

い。